

1 モエンアート標準施工法

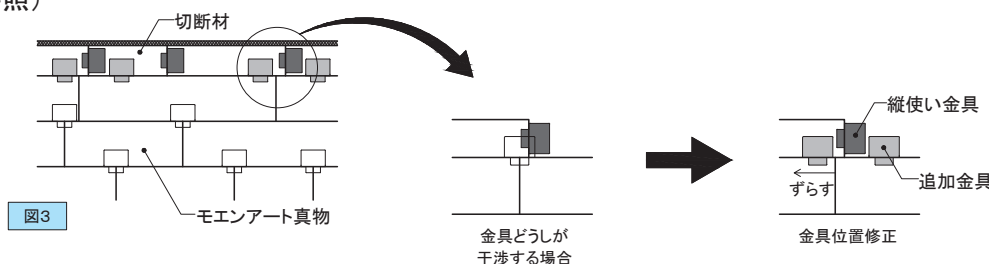
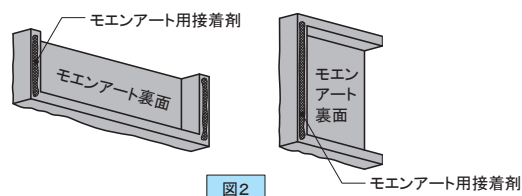
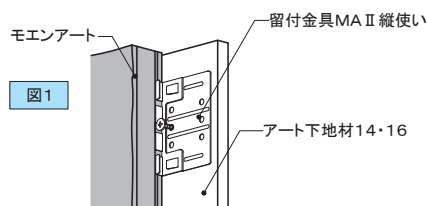
1-11 切断について

1) 切断方法・小口処理

- モエンアートの切断は、アート用カッター(JX210・JX310)またはダイヤモンドブレードソーを使用します。
- モエンアートの切断面は、必ず別売のアートペンを塗布します。アートペンの使用可能時間は、二液混合後3～4時間程度です。この時間を超えて使用しないでください。(アートペンセットは、柄ごとに指定しています。)

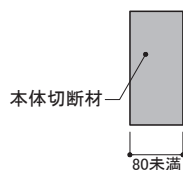
2) モエンアート用接着剤の塗布位置・方法

- 開口部、軒天部、オーバーハング部の部位は、**留付金具MAⅡ (JE602)を縦使いし、モエンアート用接着剤 (JE7500R)を併用**します。(図1、2参照)
- 縦使いした金具と通常の留付位置の金具が干渉しないよう位置をずらして留め付けます。(図3参照)
- ボーダー材、入隅材、本体切断材(開口部まわり・軒天部・オーバーハング部・下屋根部)は**留付金具MAⅡ (JE602)とモエンアート用接着剤 (JE7500R)を併用**します。(図2参照)
- モエンアート用接着剤(JE7500R)は、基本的に縦方向に直径8mm程度のビード状に塗布します。(図2参照)



3) 小幅材の留付方法

- 本体切断材が**幅または長さ方向80mm未満の切り物**となる場合、または下屋根部流れ側下端の三角形の切り物を施工する場合は、**ステンスタッピンねじと接着剤で留め付け補強**します。
- ステンスタッピンねじを留め付ける際は、あらかじめ**先孔(φ3.5mm程度)をあけ、座掘りしてから留め付け**ます。
- ステンスタッピンねじの留付位置は、モエンアート端部から30mm程度内側とし、幅方向または長さ方向に2本留めします。なお、モエンアート裏面の裏抜き部にはベニヤ・合板など15mm前後の不陸調整材を取り付けます。(調整する材質は保持力が得られるものを使用します。スペーサーなどでは保持力が得られず脱落する可能性がありますので使用しないでください。また、モエンアート裏面の裏抜き部の寸法は材によって多少のばらつきがあります。個々で調整しながら施工します。)
- ビス頭は補修用パテおよびアートペンで補修します。



モエンアート板厚	ビスのサイズ
35mm	φ4mm×60mm以上

※モエンアートは、製品の特性上、最大厚さは30mm～45mmと幅があります。上表の35mmは代表値です。アートの厚みに応じて、長いビスを使用します。

